

市街化調整区域の  
制限見直しを問う！



齋藤 昌之  
議員

**問** 人口の流出を抑制するためにも、市街化調整区域の見直しが必要と考えるがどうか。

都市建設部長

都市計画法の改正に伴い、一定の条件を満たせば市街化調整区域でも一般住宅が建築できるよう平成16年に緩和基準を条例化した。平成19年の条例改正により、接続する道路の幅員の基準が大幅に見直され、同区域内の許可件数が増加傾向に転じ、現在でも高い状態で推移している。今後も社会経済情勢の変化や関連する法律の運用を見極めるとともに、開発許可基準の規制のあり方や基準の見直しについて検討していく。

◆調剤薬局の撤退

**問** 調剤薬局が1店舗撤退となるが、再公募に当たっては同様の問題が生じないように募集要項をきちんと見直すべきであったと考える。今後検討を重ねるべきではないか。

副市長

公共施設を多くの市民の方に御利用いただくには、薬局が安定的に業を営む円滑な環境をつくらなくてはならないと考えている。要項あるいは条例にも踏み込み、議会の御意見をいただきながら、適正な要項に改めていき



▲足利市薬局施設（五十部町）

障がい者への不当な  
差別的取り扱いの  
解消に向けて！



金子 裕美  
議員

**問** 障害者差別解消法の施行に伴う本市における対応と、法で求められる合理的配慮への取り組みについて聞きたい。

福祉部長

同法の施行に適切に対応するため、職員研修の実施や相談窓口の設置などを進めていく。また、合理的配慮には建設的な対話が重要であり、そのために必要な具体例などを示した「職員対応要領」を作成し、全ての職員が障がいのある方の希望に添った対応が行えるよう進めていく。



▲国の啓発のリーフレット

◆図書館についての考え方

**問** 乳幼児を連れて図書館には行きづらいという声を多く聞かすが、子供のうちから本に親しんでもらえるよう、赤ちゃん連れでも気兼ねなく利用できる時間帯を設けてはどうか。

教育次長

赤ちゃんのときから絵本の読み聞かせをすることは、豊かな心を育む大切な教育の一つであると考えている。県から移管された後の市立図書館において、市内のボランティア団体の協力等も得て、月1回程度赤ちゃんの時間が設けられるよう現在計画を進めている。

市内業者が元気になる  
支援策を！



尾関 栄子  
議員

**問** 平成27年6月定例会の一般質問において、市内業者が元気になる支援策を続けていきたいとの答弁があった。住宅リフォーム助成制度はこれに合致するのではないか。

市長

同制度の復活拡充を求める請願を受け、第7次総合計画や地方版総合戦略の策定とあわせて検討してきた。厳しい財政運営が続く事業の選択と集中を余儀なくされる中、実施は困難と判断させていただいたが、請願の趣旨を汲み取り、本市の活性化のために、引き続き広く市内の中小企業への支援をしていく。

◆ごみ焼却施設の建てかえの前に、  
工夫と努力でごみの減量を

**問** ごみ焼却施設の建てかえは、規模を最小限に抑え、環境への影響や財政負担の軽減を最優先に進めるべきではないか。

生活環境部長

新設するごみ焼却施設については、大気汚染防止法等の関係法令に基づき、ばい煙や騒音、振動、水質など、周辺環境に影響を与えないよう配慮する。また、導入予定の環境省の循環型社会形成推進交付金制度は、適正規模の施設のみ対象となることから、ごみの排出量などの条件をもとに検討を行う。

